

あすなるクラブ

「フットパス」整備へ提言

BA・B・M OBIT代表 伊藤氏が例会で講演

中小企業経営者らの異業種 交流組織、経済研修団体「あすなるクラブ」(宮崎博好会長)は14日、釧路キャッスルホテルで、根室フットパスを運営する酪農家集団A・B・M



例会では、フットパスに出掛けられる服装で出席した会員もいた

OBIT(エービー・モビリティ)の伊藤泰通代表を招き例会を開いた。

この日の例会では、伊藤代表が「フットパスから学ぶ歩道の文化」と題し講演。直訳すると「歩く小道」を意味するフットパスという言葉について解説し、イギリスではフットパスが国道として整備されていることを紹介。自らが運営する根室フットパスは、酪農業を理解してもらうため、それぞれの酪農家がま

ちづくりという観点から、整備を進めてきたと説明した。その上で伊藤代表は「地域が過疎化、高齢化し、都市においては酪農に対するイメージも欠落してきている。酪農を身近に感じてもらうためには、おしゃれな農村でなくてはならない」と述べ、単純に歩くための道をつくるのではなく、その地域の特性を生かした魅力的な道づくりをすることで地域活性化につながる

と話した。(道永竜命)